

SecHack365 修了生の声



SecHack365 は
「好きなことを一杯出来る居場所」

古田 花恋さん
学習駆動コース コンテンツゼミ (2020年度修了生)

◆受講した感想を聞かせてください！

受講により技術力だけでなく、成果物の内容とそれに込めた想いを人に伝える力や、長期ハッカソンに必要な自己管理能力なども身につけることができました。1年間を通して自分の作りたいものについて「なぜそれを作るのか?」「これからどうしたいのか?」といったことを、様々なバックグラウンドを持つ方々に説明する機会が多くあり、多様な意見をいただくことができます。それにより自分が本当に作りたいものとは何か深く考えることができました。受講中に学んだことは修了後の活動にも活かせるようなことばかりで、その経験が今の私を支えているように思います。

◆あなたにとって SecHack365 とは何ですか?

私にとっての SecHack365 を一言で表すと「好きなことを一杯出来る居場所」です。受講中には自分にとって少し難しいかもしれないと思うような挑戦的なモノづくりにも、周りの方々が優しく後押ししてくれたような記憶でいっぱい、それがとても嬉しかったです。

修了後には年に1回開催される修了生イベント「SecHack365 Returns」にて、修了生とお話をするや発表を聞くことができます。修了年度を超えて多くのトレーナーと交流ができる点も SecHack365 を修了したことへの強みだと思います。

◆受講を考えてる人にひとこと!

「これから何かを作りたい」「何らかの課題を解決する方法を考えたい」と思っている人を SecHack365 は優しく受け入れてくれる環境だと感じています。私は勇気を出して応募して本当に良かったと思っています。



トレーナー時代のフィードバックは
今も財産に

橋本 俊甫さん
研究駆動コース (2022年度修了生)

◆受講した感想を聞かせてください！

私は研究駆動コースに属していましたが、自分で課題を発見するところから始める研究は SecHack365 が初めてでした。研究というものがよくわからないまま、うまく進捗や成果が出ず、苦しくて不甲斐ない思いをして、しばらく研究の面白さを理解できずにいました。それでもトレーナーやアシスタントがたくさん悩んで彷徨っている自分をいつも温かくサポートしてくださったお陰で、次に繋げていく形で修了することができました。今ではトレーナー時代のコースワークの資料や論文を読んだメモ、濃密で示唆に富んだたくさんの方々のフィードバックが財産になっています。当時のメモを時々振り返って何年もかけてじっくりと噛み締めていきたいです。

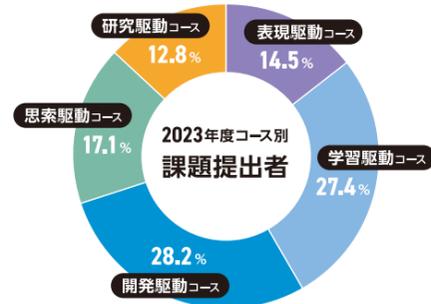
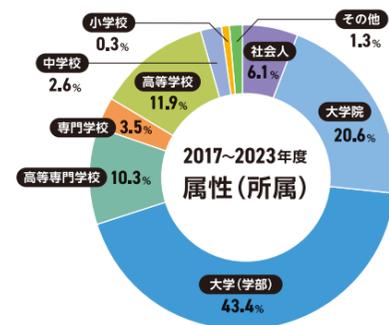
◆あなたにとって SecHack365 とは何ですか?

私にとって SecHack365 はとても居心地の良い、希望的なコミュニティです。SecHack365 では、トレーナーがやりたいと思うことに日本の最前線走るトレーナーが温かくサポートしてくれます。自分が好きだと思ったことを好きだと胸を張って言うのはなんだか自信がなくなって怖くなってしまおうのですが、勇気を出して伝えてみると、SecHack365 の人たちはわかってくれるのです。自分の内に秘めていたものをわかってくれる人がいると心から嬉しいものです。トレーナーの持つ世界観に対して作品作りを通じたポジティブなフィードバックを回して、何かしらの価値や希望を見出していくところに希望的な環境を感じます。

◆受講を考えてる人にひとこと!

SecHack365 に参加できるかどうかはトレーナーが判断するものなので、「自分にはまだ早い」とあなた自身が決めつけるものではありません。応募時点のあなたができる最大限の想いを込めて応募してください。

受講生データ



SecHack365

SECURITY + HACKATHON 365 DAYS

目指せ! 25歳以下対象 セキュリティイノベーター

キミの365日が未来を変える

次世代のサイバーセキュリティを担う
若手セキュリティイノベーター育成プログラム



磨く—「技術」

一線級の研究者・技術者による指導

築く—「経験」

他にはない
365日のモノづくり

作る—「仲間」

全国から集まった
仲間との時間

お問合せ

国立研究開発法人情報通信研究機構 サイバーセキュリティ研究所
ナショナルサイバートレーニングセンター SecHack365 事務局

✉ sechack365@ml.nict.go.jp
🌐 <https://sechack365.nict.go.jp/>

✉ @SecHack365



SecHack365の特徴

SecHack365とは、“SECURITY + HACKATHON 365 DAYS”を意味する名称で、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)主催の25歳以下を対象とした長期ハッカソンです。

SecHack365では、他にはない365日の長期ハッカソンによるモノづくりの機会を提供することで、「セキュリティイノベーター」としてセキュリティの様々な課題にアイデアで切り込める人材の育成を目指しています。

受講生はトレーニーとして、大学や企業など様々な分野で活躍するトレーナーから、継続力や発想力、アイデア、倫理・法律といった多様な観点での指導を受けながら、モノづくりに取り組みます。

トレーニー同士作品を見せ合うことで切磋琢磨し、ひたすら「作る→見せる→意見をもらう」を繰り返しながら、一人では開発しえなかった作品を作り上げていきます。



複数回の集合イベント

アイデアソン・ハッカソンのイベントを年間複数回、オンラインとオフラインで開催することで、継続的に開発を進めます。



学生向け支援

学生は集合の際の必要経費を全額補助。学業との両立についての相談や進路相談も可能です。
※ 学生・収入がない方は旅費宿泊費等の実費相当分全額補助



NICTならではの

サイバーセキュリティの研究開発のノウハウや、実際の貴重な攻撃データ等を活用できる“NONSTOP”が利用可能。



多様な講義とオンラインの活用

倫理・法律をはじめオンラインコンテンツも活用。遠隔でもチャットやタスク管理ツールを使いコミュニケーションを図ります。



最先端技術の体験

先端企業の見学による社会体験で発想力を強化。ゲスト講演者からプレゼンテーションスキルや知識を習得。

SecHack365の365日



修了後の支援

修了後の活動支援

修了生イベント「SecHack365 Returns」を毎年開催

活動機会の提供

イベント参加、展示会出展、研究発表などの発表支援

修了生の参加

集合会への参加・アシスタント採用



SecHack365のトレーナー陣

受講生(トレーニー)は、様々な分野で活躍する研究開発・セキュリティのスペシャリストからなる20名以上のトレーナー陣から、技術的観点だけでなく継続力や発想力といった観点での指導を受けながら作品作りに取り組みます。

コース紹介

SecHack365では年間の集合イベントのほか、多様なトレーナー陣により構成された5つのコースで、作りたいものやアイデアと一緒にじっくり1年間かけて形にしていきます。コースワークはオンラインを中心とした任意参加で、学業や仕事の都合に合わせて参加が可能です。



表現駆動コース

アイデアを形にする過程で、その価値を最大化しサービスを磨き上げるコース

多様性をキーワードにグループでイノベーション実現を目指します。サービスを公開しフィードバックを得ながら新たな価値を与えるメソッドを学びます。

どんな人に向いてる? 解決したい課題があり、グループでイノベーションを起こしたい人

#アイデア #デザイン力 #クリエイティビティ #ハスラー #ハッカー #ヒップスター

01

学習駆動コース

興味ある技術や作りたいものに対して付加的な学習をしながら開発するコース

作りたいものをどんどん作っていき、開発の際にあえて他の技術や分野の学習を付加的に行うことで、ものづくりの幅をさらに広げます。

どんな人に向いてる? 作りたいものがある、自力で自律的に作り始めることができる人

#アイデア #開発+学習 #アセンブラ #低レイヤー #組み込みソフトウェア #技術書執筆 #非技術系 #セキュリティ啓蒙 #フィジカル #漫画 #小説

02

開発駆動コース

まずは開発してそのあとで検証して、改良を繰り返していくコース

定まった開発テーマ・分野において、まず作ってみてから考えていきます。作ってわかることや気づきを得ながら、セキュリティの問題解決に取り組みます。

どんな人に向いてる? プログラミングが大好きで、作りたいものを自力で作れる人

#アイデア #言語自作 #OS自作 #エミュレータ自作 #Webサービス #アプリケーション

03

思索駆動コース

思索を通じて問題を深掘りしたうえで開発し、問題解決を行うコース

日常に遍在する違和感や自己の立ち向かいたい問題についてひたすら深く思索します。十分な思索に基づいた開発により、問題解決に取り組みます。

どんな人に向いてる? 何よりも考え議論して どんどん思索の深みにはまれる人

#アイデア #感じるな、考える #言葉の洗礼 #1on1議論

04

研究駆動コース

研究的プロセスに基づいたアイデア、仮説立案と検証評価を重視したコース

既存研究の調査を徹底して行い、問題の解決手法を提案します。研究プロセスを明確にするための議論を行いながら、研究へのモチベーションを高めます。

どんな人に向いてる? アイデアや、やりたいことがある人、論文・研究発表したい人

#アイデア #徹底して議論 #研究的アプローチ #論文 #理論 #課題設定ができる人

05



そのほかのトレーナー詳細はこちら

